

会 議 録

会議の名称	第3回西東京市図書館計画策定懇談会
開催日時	平成30年6月19日（火） 午後3時から午後5時
開催場所	中央図書館会議室
出席者	【委員】松尾委員、島委員、西村委員、山口委員、鈴木委員、藤澤委員、武田委員、上田委員、攝賀委員、松嶋委員、中川委員（館長）、司城委員（副館長） 【事務局】奈良庶務係長、西村ひばりが丘図書館地域館長
傍聴人	1名
議 題	第1 図書館の計画（案）について 第2 視察について 第3 その他
会議資料の名称	資料1（仮称）西東京市図書館計画（案）「目次から基本的な考え方」まで 資料2 分野別事業計画 資料3 西東京市合築複合化基本プラン策定に向けた提言（平成28年2月） 資料4 中央図書館施設の機能・規模の検証について（平成28年7月7日第4回合築検討部会 資料）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

第1 図書館の計画（案）について

- 座長 本日の内容と進行について館長より説明願いたい。
- 館長 配布資料の説明
資料1「（仮称）西東京市図書館計画（案）」（以下、「素案」とする。）を説明。
目次の「I はじめに」から「IV 基本的な考え方」の中の「2 基本方針」までを文章化した。「3 図書館の役割」の参考資料が、資料3「西東京市合築複合化基本プラン策定に向けた提言」（以下、「合築複合化基本プラン・提言」とする。）の6、12頁、資料4「中央図書館施設の機能・規模の検証について」の1、4、5、7頁にある中央図書館の機能と望ましい機能・規模についての記述となる。
本日は、「I はじめに」から「III 現状と課題」までを検討したい。「現状と課題」については、資料2「分野別事業計画」を使って検討する。
資料2「分野別事業計画」を説明。
「基本計画・展望計画」の「事業計画」から抜き出し、キーワード化して表現。各サービスの施策目標を示し、その施策に対応したキーワードを番号で表示。また、メインとなるキーワードを太枠で囲み、関連するキーワードをそのまわりに表示。傍線の上は、実施中のもので、下の部分は未完了または今後の課題を掲載。今日の懇談会で、その他気がつくキーワードを追加して欲しい。
- 座長 本日の内容は、資料1「素案」の文章化された部分についてと、資料2のキーワードを基に連想される現状と課題の確認と新たな提案などの意見を取りまとめた。
- 館長 新たな意見として出たキーワードについては、資料2に追加・修正して世田谷区立中央図書館の視察の際の参考資料としたい。

- 座長 「素案」の「はじめに」について。
- 館長 （「はじめに」の読みあげ）
- 委員 この懇談会のことに触れていない方がいいのか。
- 副座長 懇談会については、「はじめに」の最後か、計画書の最後に入れてはどうか。
- 座長 その件は最後に調整する。「はじめに」は、本日の意見を踏まえて修正し仮決定とする。次に「Ⅱ 計画の概要」について、検討する。
- 委員 「2 計画の位置づけ」について、名称の統一と分かりやすく図に直した方がいい。
- 座長 文章については、すべて正式な名称に統一し、図は整える。
- 副座長 「3 計画期間」の期間は、5年（31年度から35年度）となっている方がいいのか。
- 委員 前回の議事録によると、35年までは拘束される。その後の10年を見通して事業計画プラス10年の中長期計画を策定するとなっている。
- 事務局（補足） 図書館計画の事業計画については31年度から35年度までの5年とし、公共施設等マネジメント基本計画の中長期計画が45年度までなので、施設についてはそれに合わせた計画を立てる。
- 座長 整理すると、総合計画は、35年度までなので、図書館計画の事業計画は31年度から35年度までとなる。「公共施設等マネジメント基本計画」（以下、「マネジメント計画」とする。）は45年度までなので、展望として計画の中で加えて策定する。計画期間はその旨を明記する。
- 委員 施設面だけでなくソフト面も必要ではないか。前回配布資料の「マネジメント計画」の中には見直しの方向性についても明記されている。
- 副座長 中長期計画として「マネジメント計画」があるので、図書館計画には含める。
- 座長 「計画の概要」については、議論した部分を修正したものを仮決定とする。「Ⅲ 図書館の現状と課題」について、現状については、「運営体制のあり方・提言」を基にして示した方がいいのではないかと。
- 事務局（補足） 協議会の提言は、運営体制のあり方を検討したので、現状について統計を使った説明が多い。本計画は図書館施策を策定するので、その視点での現状説明としたい。
- 座長 「Ⅳ 基本的な考え方」の「1 基本理念」は今まで積み上げてきたものなので、変えられないものという認識でいいか。
- 館長 基本理念は変えていない。基本方針は変えている。
- 副座長 この基本理念では、資料を提供することが言われている。提供の結果、地域発展に寄与するなど、地域とのかかわりが必要かと思う。
- 委員 基本理念はずっと変わらないものなのか、5年間のキャッチフレーズ的なものかによって捉え方が変わる。
- 座長 基本理念は継続的なもの。方針は5年を目指してのもので、変わっていくものでいいと思う。
- 委員 基本理念には2つの方法があり、どちらか迷う。図書館から市民への提供の視点か、市民から見た利用者サイドの視点か。素案は、図書館サイドの視点で書いてある。
- 委員 図書館が作成する図書館計画なので、図書館サイドの視点でいいと思う。
- 委員 市民に愛され、支持される図書館を目指すという視点の基本理念があってよい。
- 座長 基本理念は、図書館協議会、教育委員会とも考えていく必要があるのでは、手を加えず基本方針について議論し、あとで戻って検討する。次の「図書館の現状と課題」について検討したい。まず、成人サービスについて議論したい。
- 副座長 図書館は、資料を提供する場であるとともに、図書館を使って市民に情報を発信していく場としての見方も必要。
- 委員 基本方針（2）にある、知的情報基盤に対応するのではないかと。
- 副座長 基本方針（5）として市民の情報発信の場を別途追加したらどうか。
- 委員 副座長の意見は、「合築複合化基本プラン・提言」の中でも議論されている内容と一致しているので賛成する。
- 館長 現状と課題のキーワードについて、ご意見をいただきたい。
- 委員 英語多読サービスは新しい視点だと思うが、他の自治体でやっているところはあるのか。
- 座長 やっている図書館は増えている。
- 館長 本を置くだけでなく、そこから多方面に発展していくのはいい。
- 副座長 統一展示とは何か。
- 副館長 全館で同じテーマで展示を行う。展示にあわせたテーマで、小冊子「ちらっと」を発行、配布し、資料も活用してもらおう取り組みを行っている。

- 委員 レファレンスサービスにも入るのではないか。
- 委員 本そのものの紹介をしている。
- 委員 多文化サービスを今後重視するということが、どこに入るのか。
- 委員 ハンディキャップサービスに含めていたと思うが掲載されていない。児童サービスには多言語おはなし会がある。
- 副館長 「基本計画・展望計画」の策定時点では「多文化サービス」の認識がなかったので、現状には含めなかったが、実際にはハンディキャップサービスの担当者が音頭を取り、成人や児童サービスと連携して行っているが、位置づけははっきりしていない。サービス部門がかぶる部分が出てしまうので、この計画では、部門の枠にこだわらずに図書館全体としてのサービスを組み立てていただきたい。
- 副座長 外国人登録の国籍別登録者はわかるのか。
- 副館長 児童サービスで外国語絵本購入の際に調べたところ、購入が多かったのは英語・韓国語・タガログ語だった。
- 委員 イングビルに多文化交流センターがある。市のホームページも英語・中国語・韓国語での対応をしている。また、ハンディキャップサービスという言葉には違和感がある。ユニバーサルサービスの方がわかりやすい。
- 座長 図書館界では、「図書館利用に障害のある方々へのサービス」という言い方をしている。
- 委員 ユニバーサルは子供からお年寄りまでというイメージがある。図書館サービスにハンディがあるという意味とは、ニュアンスが違うように思う。
- 委員 今後は、誰でも利用しやすいユニバーサルサービスという方向で考えていくのがいい。多文化サービスもハンディキャップの視点ではなく捉えていいと思う。
- 座長 用語の問題もあるようだ。ほかに、NPO団体や市民活動支援についてはどうか。
- 委員 社会福祉協議会に、ゆめこらぼという団体がある。
- 座長 では、次に児童サービスについて議論したい。
- 委員 ぜひ、子ども読書会と親子読書会の二つと調べ学習講座を入れて欲しい。
- 副座長 他機関との連携があったらいいと思うが、キーワードとしては子ども読書活動の枠の中に入っている。別途見出しとして必要かと思う。
- 委員 マンガ資料については考えていないのか。コミックエッセイや学習マンガなど、どのような線引きをしているのか。また、今後芸術としてのマンガをどう取り扱っていくのか。
- 副館長 コミックマンガやストーリーマンガは入れていない。その他のコミックエッセイや学習まんが、マンガで読む〇〇等は、購入している。また、原爆関係の資料を集めた「原爆小文庫」の資料として『はだしのゲン』がある。
- 委員 市内にアニメーションの制作会社もあり、市内が取り上げられたりしているので、地域に関連した視点からの資料収集はどうか。
- 副館長 地域資料サービスでは、手に入るものは入れているが著作権の問題等で難しい。
- 委員 ヤングアダルト層を取り込むにはマンガの購入も考える必要があるのではないか。
- 委員 マンガのイメージは、昔とだいぶ違ってきている。
- 副館長 人気のあるマンガは装丁が壊れやすいし、在庫がなく補充が利かないので、保存を考えるとむずかしいのが実態。練馬区では以前はハードカバーになったものを収集していた。
- 委員 東久留米市では、期間を限定し、「マンガの部屋」という実験的な企画を行って、利用者の反応を見ている。

(キーワードの書き出し)

- 館長 事務局でまとめて視察時に配布する。視察で気付いたことも書き入れていただきたい。
- 座長 次回も引き続きレファレンスサービスから検討することにする。

第2 視察について

事務局より説明

世田谷区立中央図書館へ視察 7月6日(金) 13:00 中央図書館集合

第3 その他

特になし。

次回 7月10日(火) 15:00から 中央図書館会議室

